



お釈迦様がものがたり 100

お釈迦様が誕生されたのは西暦前6世紀頃で、ネパールに近いインド北部である釈迦国の王子として誕生されています。

29歳の時、妻と子をカピラ城に置いて出家し、修行の旅に出ます。35歳の時、マガダ国の尼連禪河のほとりで覚りを開かれてから、自分のさとした教えを伝えたいと願い、伝道の生涯を歩み始めます。51年もの長い間、仏教の伝道を精力的に歩んだお釈迦様も、80歳となり衰えが顕著となりました。

ワッジ国の竹林村での雨期安居(勉強会)が終わると首都ヴェーサーリーの町へ托鉢に出られました。しかし病後のことと疲労も多く、食後には昼の休息のために、付近の廟所に行かれました。この町には人々が仏教団のために建ててくれたいくつかの廟所があって、休息所としてお釈迦様にはきわめて快適であったらしい。それは、しばしばこの地を訪れた長い間の思い出として、懐かしく思われたことでしょう。お釈迦様が最期にこの地に滞在されたとき、ウデーナ廟は楽し、ゴータマカ廟は楽しと言って、楽しい思い出を繰り返しながら楽しんでいました。

お釈迦様が当時のインドで、六大国の一つであったこのヴェーサーリーの地で活躍し始められたのは、成道(覚る)後、間もない頃からのこととあります。成道第二、第三、第四の三カ年の雨期には、マガダ国の王舎城で過ごされたが、第五年にはヴェーサーリー郊外の大林で安居をされました。

この林には重閣講堂という精舎が建てられて、仏教の信奉者が次第に増加していききました。しかし元来この地方はジャイナ教祖マハーヴィーラの出身地であり、仏教が入る前から、すでにジャイナ教の勢力が根を張っていました。この地の有力者には、ジャイナ教の熱心な信者が少なくありませんでした。仏教の布教は困難を極めます。合掌(奥原曇龍)

寒梅に一輪一輪花咲くよ 心に光りともしびの寺 田辺多恵子



令和7年1月1日 元旦説法に参詣した方々と

ともしび法話

立春とは名ばかりの厳しい寒さが続く日々ですが、皆様お元気ですか。

新型コロナウイルスやインフルエンザが大流行していますので体調に気をつけたいですね。3月は春のお彼岸の行事、4月は春の永代経法要の行事と続き、気軽に参詣下さい。心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

謹賀新年

皆様、心も身体も健康でよい年でありますように。楽しいこと、嬉しいことがありますように。生きることは、人生とは、時に真剣に思えます。

倉敷市庄新町

高橋雄一郎

昭和に生まれ、平成、令和と齢を重ねてきましたが、お陰様でそれなりに高齢者と呼ばれるようになりました。感謝で一杯。岡山市南区西畦 川上 英男

曇龍先生、お元気ですか。

「死ぬことは誰かの心の中に生き続けること」だそうですね。いっそう私の心に残りました。今年もどうぞよろしく。

倉敷市黒崎

早瀬小夜子

ともしび説法

日時・二月 五日「水曜日」 午後一時半から四時頃まで。
三月 六日「木曜日」 午後一時半から四時頃まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

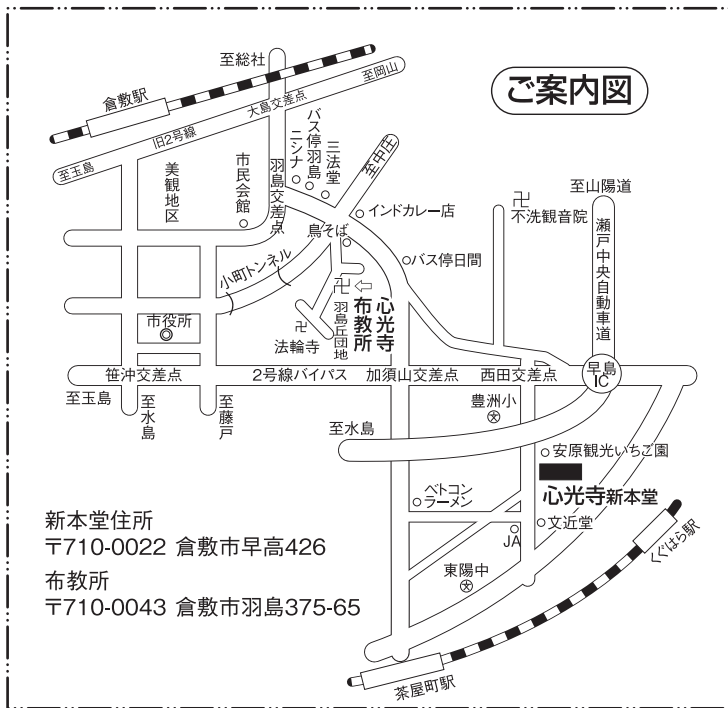
○ともしび説法・お寺の行事予定

四月 二十日(日)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。

春の永代経法要(儀式と仏教講演)

五月 十四日(水)・午後一時半から四時頃まで・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

- 早島町 仁熊様 3千円
- 倉敷市 大庭様 早瀬様 早島町 平松様 4千円
- 倉敷市 小田様 佐野十三男様 山形田鶴子様 藤原力様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしょうにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

こころの詩

2月の節分が来た
寒梅が一輪一輪花咲かす
木々も冷たい北風の中を
苦しみながら懸命に大地に樹つ
けつして弱音を吐かず
この与えられた季節の中を
自分らしく花咲かす



カット:吉岡美枝

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「421号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。2月5日のともしび説法の日には茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦